

R7:第2回全日本学生バドミントン連盟常任委員会参加者・出欠確認

役職	氏名	出欠
1 全日顧問	関根 義雄	×
2 全日名誉会長	宮崎重勝	×
3 全日会長	北見 正伸	○
4 全日副会長、総務部長(関東会長)	平野 泰宏	○
5 全日競技部長	大束 忠司	○
6 全日競技部選手強化	古財 和輝	×
7 全日総務部渉外	有吉 晃平	○
8 全日競技部選手分析	渡辺 英次	○
9 全日総務部広報(九州会長)	井上 翼	○
10 全日副会長(関西会長)	宮崎 克己	○
11 常任委員(北海道会長代理)	谷 博文	○
12 常任委員(東北会長)	千葉 陽子	○
13 常任委員(中部会長)	佐藤 荘二	○
14 中四国会長	北脇 康治	○
15 全日委員長	福田 隆	○
16 全日会計	林 忠男	○
17 全日会計	青木 涼一郎	×
18 常任委員(北海道委員長/全日副委員長)	白井 紫音	○
19 常任委員(東北委員長)	小野寺 陸	○
20 常任委員(関東委員長)	山家 一紗	○
21 常任委員(中部委員長/全日副委員長)	大口 尚真	○
22 常任委員(関西委員長)	竹森 美優	○
23 常任委員(中四国委員長代理)	中尾 佳祐	○
24 常任委員(九州委員長)	松谷 翔太	○
25 全日監事	喜多 努	×
26 全日監事	町並美保	×

出席確認 26名中20名出席

令和7年2月22日

第二回常任委員会議事録

司会：福田全日本学連委員長

議長：北見全日本学連会長

書記：白井全日本学連副委員長

小野寺東北学連委員長

記

- 1 実施形態 Web 会議
- 2 日時 令和7年2月22日(土) 10:00~16:00
- 3 会場 日本体育大学健志台キャンパス(ホスト)
Web 会議(zoom)
- 4 議題・報告事項

議事1

報告1) 2024年度全日本学連事業報告、決算報告、監査報告

○加盟登録書類の改訂について

【第1回常任委員会で報告した通り、加盟登録書類の形式が変更となる
振込み間違いや記載間違いがないように正確に行うこと】

→収入の普及費について、全日本学連と日本バドミントン協会の年度締日が異なるため来年度に100万円程度計上予定。

報告2) 2024年度各地区学連事業報告及び決算報告

→全日本学連主催の4大会の補助金は各地区の収支報告書にも計上すること。

報告3) 2023年度主催大会決算報告

→インカレ記念Tシャツについて西日本インカレにて赤字となったため、今後の大会においては、全日本スポンサー(ラクリ)と相談し単価を減らしていくことを検討する必要がある。

以上、報告1)~報告3)について承認された。

議事2

審議1) 2025年度全日本学連事業計画案及び予算案

→来年度はユニバーシアードがあり、合宿費や強化費の増額を予定して選手強化・派遣費の予算が2倍近く増加している。一方、広告や協賛、スポンサーから頂ける協賛金により、収入の増額も見込めることから収支としては問題ないと考える。

審議 2) 2025 年度各地区学連事業計画案及び予算案

→1種大会で使用されるシャトルについて、例年では準決勝以上の試合では TOURNAMENT を使用していたが、シャトルの高騰等により NEW OFFICIAL を使用することとする。

審議 3) 2025 年度主催大会要項 (案) 及び予算 (案)

→中部学連事務局の変更。委員長宅→至学館大学の研究室

※研究室詳細は後日報告。

→2025 東日本インカレは**代表者**会議同日から競技開始予定。

→2025 東日本インカレは(東北学連) 例年データと紙媒体での申し込みを行なっていたが、データのみでの申し込みに移行。西日本インカレの (九州学連) 申し込み方法について検討中。

→西日本インカレ予算修正(日本バドミントン協会 100 万円→0 円、全日本学連 150 万円→250 万円)

審議 4) 2025 年度全日本学連学生役員について

→**福田委員長から 2025 年度役員について提案があった。**

以上、審議 1)～審議 4) について異議なく可決された。

議事 3

報告 4) 東西インカレ大会「開催中」の棄権申し出に対する対応について

→「インカレ出場要件」に追記して全日 HP に掲載済。

報告 5) 国際大会選手選考基準の改訂

→「国際大会参加選手選考に関する申し合わせ」を加除修正して全日本 HP 掲載済。

報告 6) 「2024 ヨネックスカップ中国バドミントンエリート招待会」への役員及び選手派遣について

→全日本 HP 掲載済。

報告 7) 学連杯 (全日本学連学生委員慰労会) の予算について

→実施済。

報告 8) 日バへの1種大会開催予定報告 (2年前) について

→会場及び期間が未確定の場合は「未定」報告で可。

報告 9) 令和6年度第1回常任員会議事録

→議事録を全日 HP に掲載。

報告 10) 大会参加申し込み⇔日バ加盟登録確認システムのリンク運用の

問題点整理 **資料 1**

→①「日バ登録確認システム」の総括。

→日本バドミントン協会から確認システムへのアクセス権を譲渡してもらい、

今後各地区でも確認システムを使用できるようにしていきたい。

→②各地区学連担当者（大人）選出→講習会実施（Web）。

→③R7年度；全日本インカレ（団体・個人）・東西インカレで運用。

→新ファイルで申し込みをする上での注意点(例年複はペア数の入力であったが今後は人数入力へと変更する)

→④地区学連大会にも適用可能。

→インカレの際にスムーズに運用していくことができるよう、各地区大会でも運用してほしい。

報告 11) 日本学生ポイントランキング⇔シード決のリンク運用の進捗状況

報告 12) 1種大会「要項」「式次第」「大会役員」「競技役員」の

ひな形について資料2

→1種大会「要項」「式次第」「大会役員」「競技役員」のフォーマットに則り、作成し、統一する。ただし、日本バドミントン協会と打ち合わせを重ね作成している点も多く含まれているため、原則毎年度の変更が必要な部分を除き変更しない。

報告 13) 加盟・登録数の増加対策：

①同一法人の短期大学と大学とのチーム編成

② 省庁立大学校の全日本学連への加盟登録

① 省庁立大学校の全日本学連への加盟登録（規約改正）

→スポーツ庁の回答→全日本学連規約改正のみで対応可

② 同一法人・同一キャンパスの短期大学と大学とのチーム編成

→細部について継続審議

→各地区、短期大学・省庁立大学校の加盟・登録を促進していく。

報告 14) スポンサー獲得に向けてユニバスとの協力体制の構築

以上、報告 4) ~ 報告 13) について資料に基づいて報告があり承認された。

議題 4

審議 5) 全日本学連スポンサー募集の基準について資料3

→協賛内容と協賛金の基準。

→全日本学連と各1種大会主管学連とのスポンサー競合を避ける基準。

審議 6) 全日本選手権大会（個人戦ミックス）のポイント表について

→①R7年度実施。

→②各地区大会選手権大会（個人戦）を3種目から2種目選択制に変更が必須。

※各地区学連に連絡済（2024.12.23.）

→③各地区大会選手権大会（個人戦）を3種目全選択にするか2種目選択に

するか

各地区の判断に任せる→ただし、インカレ（個人）・東西インカレが2種目選択なので、地区大会でポイントを加算できるのは2種目になる。

→ポイント制導入の趣旨を説明再確認。

→来年度、再来年度より混合複も統一したポイント配点とする。

→各地区大会のポイントの配点はボーナスポイントの位置付け。

→全日本総合やランキングサーキットについては出場しただけではポイントが入らなく、勝ち上がることでポイント配点の対象に。

審議7) 東西インカレシード数&審判員について **資料4**

→強化の観点から3種目から2種目選択制を導入する。基本としては2種目選択制を導入するが各地区の事情を踏まえ、各地区大会において3種目行うことができる。(各地区判断)

3種目行う地区は、1人の選手が3種目でポイント配当対象となった場合、そこから2種目を選択しポイントを配当する。残った1種目は地区としてポイント該当者なしとする。

→ex 地区大会でシングルの推薦権を得ていても、東西インカレにてダブルス・混合複を自力で出場権を獲得した場合、自力で出場権を獲得した種目が優先される。

→全日本インカレのダブルス・混合複について、東西インカレで組んだペアでのみ組むことができる。

① 各地区学連&対象者にアンケート調査実施結果。

→あ) 大多数が現行制度に賛同。

→い) ポイント保有者全員をシード枠に入れる。

→う) 種目ごとにシード枠数を決める。

→え) 種目ごとにシード枠に入るポイントを決める。

上記 あ) い) う) え)の中から決定。

→2種目選択制になり出場種目が別れ、シードが埋まりきれないことも考えられること、64シードでは実力のある選手が拾いきれきれないことが考えられるため2025年度については「い) ポイント保有者全員をシード枠に入れる。」を適用する。

② スーパーシードについて (ポイント保持者 32or64シード案について)

→スーパーシードを用いた時、全日本インカレ出場権を獲得する条件として最低でも2回戦は行うものとする。

→スーパーシードのシード数については今後担当者と主管学連を中心に検討していく。

③ 団体戦3位決定戦についての提案(検討)について

→2025年度は東西インカレの申し込み状況を踏まえて、検討する。前向き

に行いたい意向。

④ 1種大会での3級審判資格者による敗者審判制（準決勝以降は除く）導入。

→例年では専属審判を派遣し、敗者審を行なっていなかったが、2025年度から敗者審判制度を適用し、準決勝を除く試合を敗者審とする。

→1種大会要項に審判（出場競技者敗者審判制：準々決勝まで）変更点を記載する。

→審判服装について。

→日本バドミントン協会の意向としては服装や色を指定し行うことを望んでいる（白シャツに黒のズボン）が、敗者審を適用することにより服装や色を揃える時間確保が難しいため、最低限、下のズボンについては長ズボンの着用を義務付ける。

審議8）ポイント制導入及びインカレ団体大会・個人大会分離に伴う申込締切&組み合わせ会議の日程変更

→①東西インカレ：大会；8月下旬～9月上旬・組み合わせ会議；8月上旬

※R7（案）：東日本大会；8/23～31・西日本大会；9/1～9
組み合わせ会議；8月2（土）～3（日）

→②インカレ：選手権大会；10月中旬／大学対抗戦；11月上旬・
組み合わせ会議；9月中旬～下旬

※R7（案）：選手権大会；10/10～16・大学対抗戦；11/6～9
組み合わせ会議；9月20日（土）～21日（日）

→今後の組み合わせ会議はWeb会議で行われる。

審議9）一般社団法人化に向けての規約改正資料5

→全日本学連が法人化に伴い、定款が作成された。細則については、3月末までに各地区学連に提案する。

→定款に則り、組織の形を変更する。

→定款による組織

① 代議員総会→社員総会 ②常任委員会の廃止 ③理事会の設立

④ 代議員総会→社員総会（構成：各地区会長・委員長）

⑤理事会（構成：社員総会で承認された者）-代表理事（会長）

-常任理事（副会長含む）

→細則で定める組織（今後増える可能性も）

①運営本部 ②学生委員会 ③地区委員会

①運営本部（構成：理事会+学生委員会）

②学生委員会（構成：各地区学連から1名ずつ ※各地区委員長不可）

※ここから全日委員長を選出

③地区委員会（構成：各地区会長）

→組織の流れ

地区委員会(運営本部へ意見提出) → 運営本部

||

社員総会(理事監事選任、決算の承認)⇔ 理事会(事業・予算報告、決算の提案)

審議 10) インターンシップ実施に向けて日本バドミントン協会との協力体

制の構築 資料6

→各地区担当者学生を設定し、積極的に参加してほしい。

☞常任委員会同様の説明

以上、審議5)～審議10)について資料を基に提案があり、審議の結果異議なく可決された。

その他報告事項

☞大東競技部長よりユニバーシティーゲームズの候補の報告

☞全日本主催でない競合の大会と日程が被る可能性がある為、学生がどの大会に出たいかという意思を尊重する。東西インカレに特別な理由で出られない場合は選手の不利益にならないよう対応。

☞来年度事業報告。第1回全日本学生連盟代議員総会が2月21日22日に変更。定款が変わることによる会議名変更の可能性。

【その他報告事項：令和6年第1回常任委員会報告済】

- (1) 令和6年度各種大会内容：組み合わせ基準（ポイントランキング制）【実施】
- (2) 令和6年度全日本ミックス：シード枠変更（16→32）【実施】
東西インカレ：シード枠変更（32→64）【実施】
- (3) 加盟登録書類（大学名簿・登録名簿・加盟登録費納入表）の改訂【実施】
- (4) 令和7年度東西インカレ大会内容（令和8年度のプレ大会と定義している）【周知】
- (5) 選手強化：強化宿舎（全日本総合・中堅選手育成強化）【実施】
- (6) スポンサー（ラクリ・専門店会・他）【実施】
- (7) インカレ映像配信【実施】
- (8) 1種大会：要項・競技規則（競技運営）・式次第・
役員名簿等の記載内容統一雛型【実施】
- (9) 学生強化チーム編成（今年度は「全日本総合参加選手」「来年度ユニバーシアード選考選手」を対象）【実施】
- (10) スポンサー獲得⇒スポンサー選定【実施及び進行中】
- (11) インカレ経費：予算再配分【実施】
- (12) インカレカップ：新調（男子団体）・大会名銘盤変更・優勝旗短冊新調（新大会名）【実施】
- (13) ユニバス参加：ユニバスカップ対象大会・動画配信【実施】・
医療従事者費用補助【検討中】

上記内容は総会（2024.2.25.）において令和6年度施行予定で議決された案件（1・5・6・7・10・11・13）並びにその後 web 総会で議決された案件（2・11）及び関連事項（3・4・8・9・12）。

以上、再確認して承認された。

2025. 2. 23.

議事録署名人

全日本学生バドミントン連盟 会長 北見正伸



全日本学生バドミントン連盟 総務部長 平野泰宏

